

2023年6月

NPO法人 学習塾全国連合協議会

NPO 塾全協

塾全協通信



題字：怜齋（白川亮 進ゼミ柏）

NPO 塾全協 西日本ブロック拡大理事会・ブロック総会

日時：2023年5月14日(日) 15:00～17:00

場所：共学館義塾（大阪府吹田市）



令和4年度事業報告、事業内容の確認、会計報告のあと、新年度の役員、仕事の分担が以下の通り決まりました。（敬称略、*は常任理事）

- ・理事会の招集、司会、議事録・塾ジャーナル、月刊私塾会への広告、告知の掲載(*寺田)
- ・研修会・セミナー(*中村勲)、
- ・教材フェア・関西塾団体協議会・他団体の行事への参加(*村田)
- ・忘年会(杉山)

詳しくは「会員専用ページ」をご覧ください。

NPO 塾全協 東日本ブロック総会、全国常任理事会、全国総会



ブロック総会では令和4年度事業報告、事業内容の確認、会計報告が承認され、そのあと新年度の役員（常任理事）が以下の通り決まりました。（敬称略）

内藤（理事長）、稲葉、山本、中山、星野（勝）、星野（重）、木名瀬、中村基

そのあと新年度の事業計画、予算が承認されました。詳しくは「会員専用ページ」の「総会資料」をご覧ください。

全国常任理事会のあと行われた全国総会では、各ブロックの授業報告、会報告が承認されたあと、全国会長（山下）と全国事務局長（中村基）が再任されました（敬称略）。また会費の変更（値下げ）が承認されました。

NPO 東日本ブロック主催 2023年 中高入試を考える会

日時：2023年（令和4年）5月28日（日）16:30～18:00

場所：としま区民センター（池袋）503号室

講師：（株）声の教育社営業部 部長代理 三谷潤一氏

参加者：約20名

レポーター：中村基和



《講演概要》 （だ、である調に直してあります。）

《中学入試》受験者数は8年連続で増えている。（厳しくなっている）日本学園は現中1の代から明治大学系列校になるため、受験者数は去年の536%になった。明大中野はそのあおりを食らったが、将来明大明治が応募者を減らす可能性がある。共学になり、始めから海外の大学と連携をした芝国際は、去年70人だった応募者が今年は4000人と570%の伸びとなった。有楽町線沿線が増えている様子だ。

《高校入試》都立の平均応募倍率は昨年と変わらず1.37倍であるが、男子は1.39倍が1.42倍に増え、女子は反対に1.40倍が1.37倍に増えている。これは男女定員の緩和のためだ。定員割れは2,289人から2,160人と減ったが相変わらず多い。人気校を不人気校の差が大きい。

埼玉県では私立の過去問題集を買わない生徒が増えている。7月の北辰テストでOKが出ると塾も行かない、過去問も買わないと言う傾向が出ている。

公立高校入試全体の傾向

- ・安全志向と人気の二極化傾向
- ・二次募集の多さ
- ・全日生希望の減少、通信制希望の増加
- ・東京都以外の首都圏の低倍率→受験準備意欲の低下？

私立高校入試全体の傾向

- ・コロナ渦以後の私立人気は落ち着く
 - ・人気の二極化傾向
 - ・人気の固定化傾向
 - ・定員超過→基準上昇…桜丘、修徳、自由が丘学園、芝国際、日工大駒場、栄北、浦和麗明、叡明
- 東京都スピーキングテストは、現都知事が辞めない限りやめない。

Q&A

Q:物価高で家計が厳しい中での私立中の人気の理由は？

A:コロナ渦の時の私立中の対応が良かったことや公立中に対する不安感。

